

学校段階の若者のキャリア 形成支援とキャリア発達 職場体験学習の効果測定

下村英雄

労働政策研究・研修機構

労働政策研究報告書No.104「学校段階の若者のキャリア形成支援とキャリア発達 - キャリア教育との連携に向けて」より

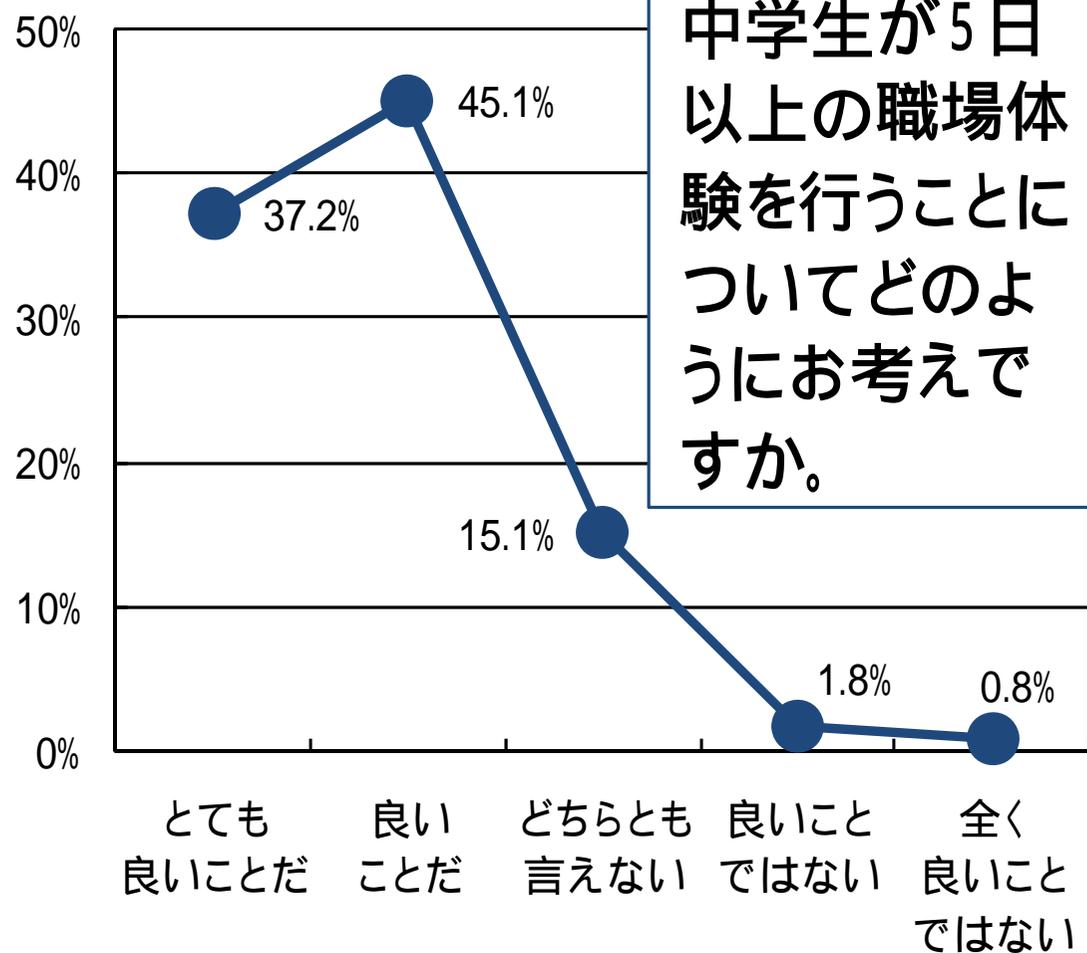
本報告の背景

- 1997年 「インターンシップの推進に当たっての基本的考え方」（文部省、通産省、労働省）
- 1999年 中教審答申に「キャリア教育」を明記。
- 2003年～「若者自立・挑戦プラン」（内閣府、文科省、厚労省、経産省）4府省の連携下で「学校段階からのキャリア教育」の推進を決定。

本報告の背景

- 2005年～文科省「キャリア・スタート・ウィーク」（原則週5日間の職場体験）を実施。
- 2007年～「キャリア教育等推進プラン」4府省連携によるキャリア教育等の推進。厚労省では「キャリア探索プログラム」「ジュニア・インターンシップ」など、キャリア教育に対する側面的なサポートを提供。

職場体験に対する関心の高さ



中学生が5日以上
の職場体験を行うこと
についてどのよう
にお考えですか。

2007年1月に、
子どもを持つ30
～50代の全国の
親1,372名を対
象に行った調査
結果より。

本報告の問題意識

- 日本のキャリア教育では、政策的に「職場体験学習」が重視されてきた。
- また、一般の世論も、職場体験学習には好意的であり、重要であると考えている。
- しかし、職場体験学習については、実証的・理論的検証が未だ十分ではない。

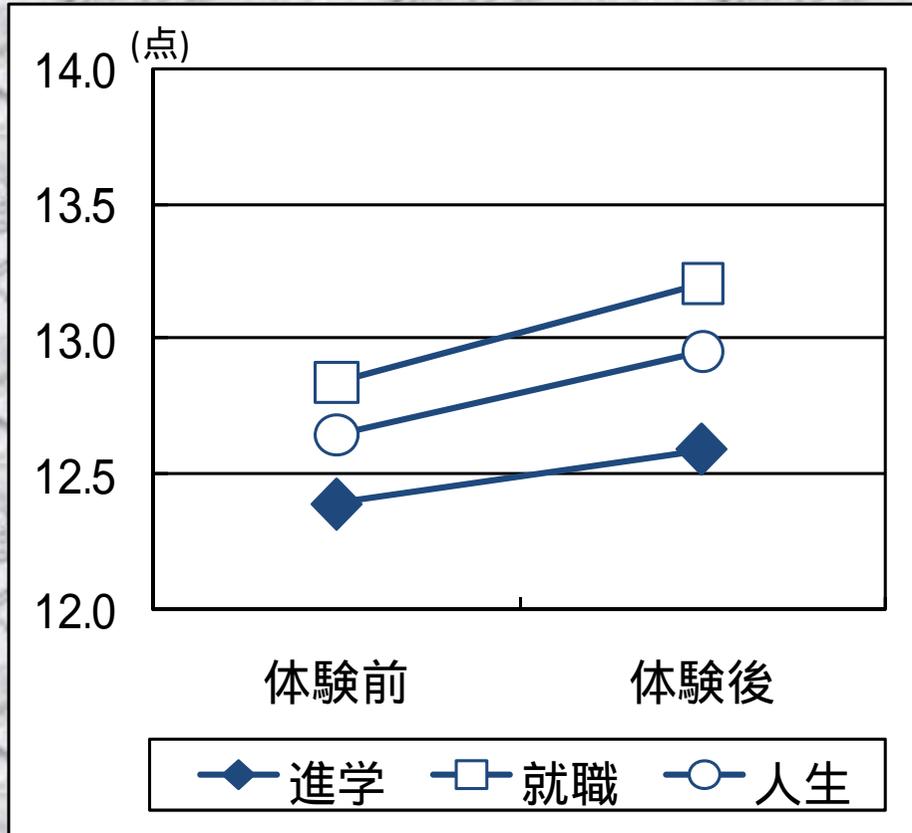
本報告の問題意識

- 職場体験学習では、どのような心理的な変化が生じているのか。
- 職場体験学習には、どのような効果があるのか、また、なぜ、職場体験学習は効果的であると主張できるのか
- その効果をいかに測定すべきか。

本報告の発表データ

- 2006年度実施
- 東京都内M市立中学校2年生833名
(8校分。男子442名、女子386名、不明5名)
- 5日間の職場体験の前後で質問紙調査を行った。都合により5日間の職場体験後の回答のみ得られた315名のデータもあわせて分析に用いた。

職場体験学習の効果



坂柳・清水 (1990)

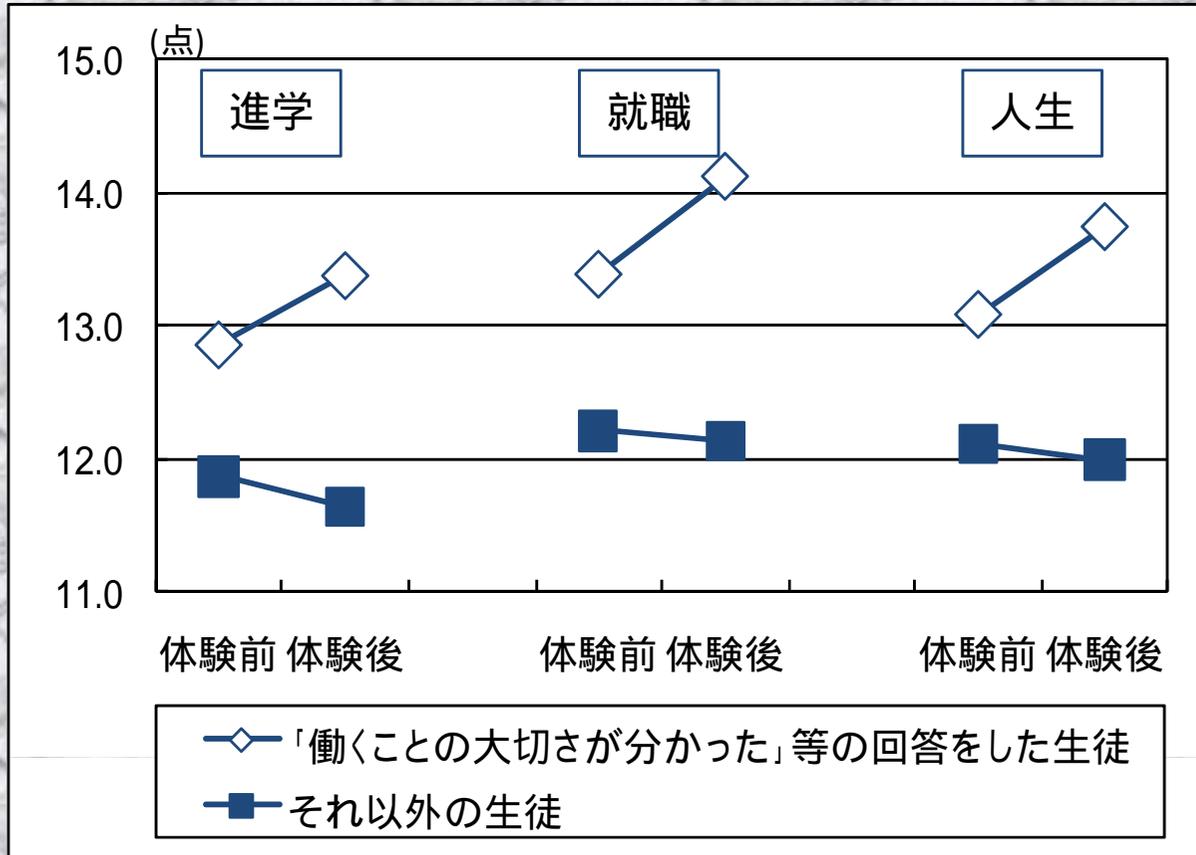
進路課題自信尺度【進学】

- ・ 進学先を決めるのに必要な情報・資料を自分で集めること
- ・ 進学のための目標や計画をはっきりと立てること
- ・ 自分に合う進学先を決めること
- ・ 進学した後、充実した学校生活を送ること

【就職】【人生】の項目は下線部分が入れ替わる。

職場体験後の方が、進学、就職、人生に対する自信（自己効力感）が高まる。

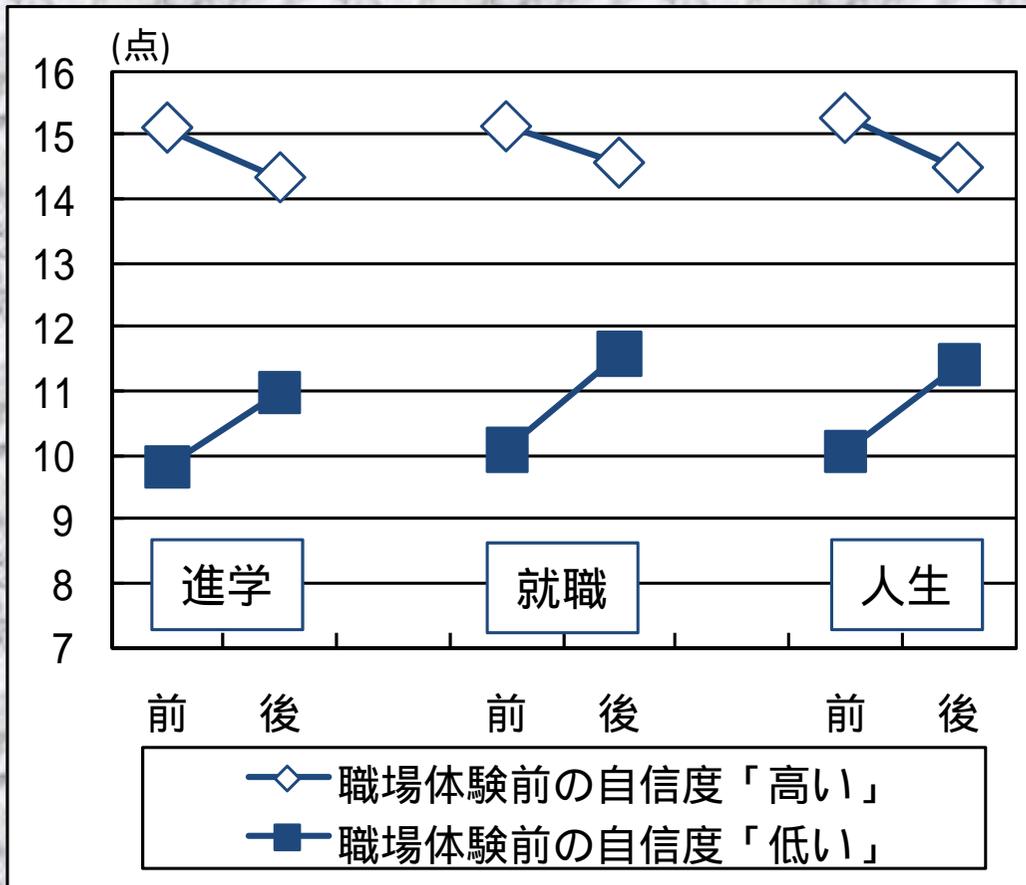
職場体験学習の効果



職場体験の感想を
・ 将来の目標が明確になった
・ 面白かった
・ 働くことの大切が分かった など、
明瞭化・情動・理解
の3つの側面から質問した。

職場体験に良い感想を抱いた生徒で、特に職場体験後の変化が大きかった。

職場体験学習の効果



•もともと体験前の自信が低かった生徒は、体験後、値が上昇した。

•もともと体験前の自信が高かった生徒は、体験後、値が低下した。

= 職場体験学習の
平準化・現実化効果

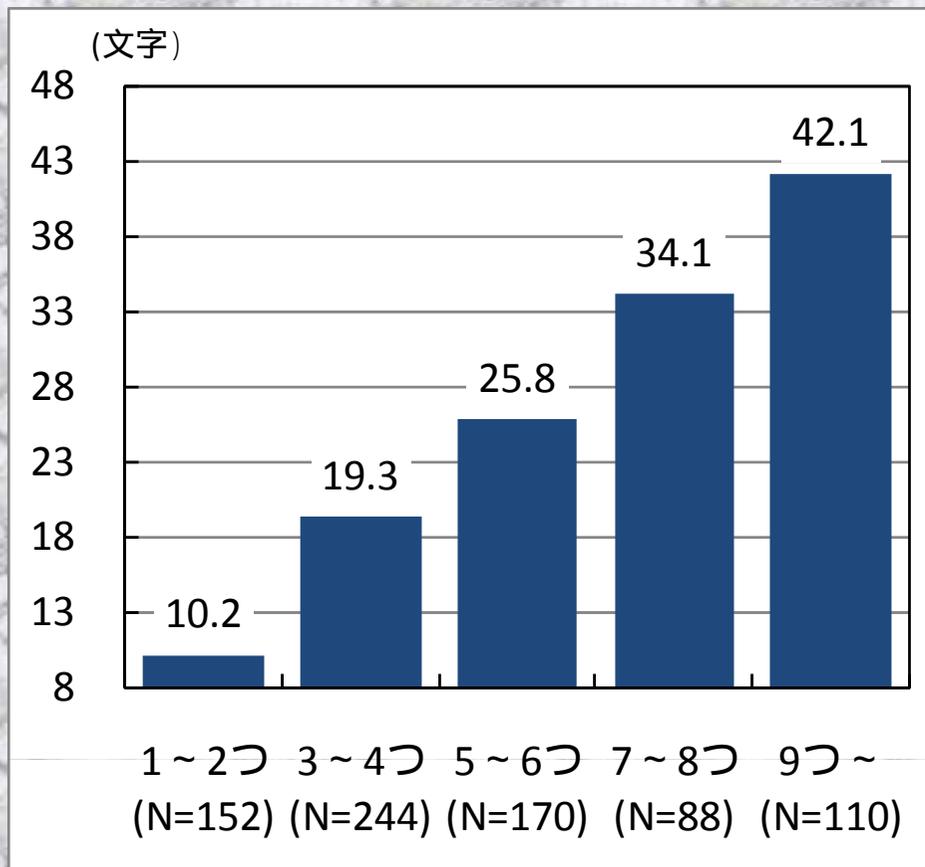
低すぎる自信は高め、高すぎる自信は低める方向で、職場体験の効果が見られるのが特徴的である。

効果測定と自由記述データ

- 尺度による効果測定は、客観的な数値で結果が示されるため、明確。
- 一方で、尺度による効果測定は生徒の負担も大きく、時間もかかる。
- より内容的な面から、職場体験学習を評価したいというニーズもある。

職場体験学習の効果測定における
自由記述データの活用

職場体験学習と自由記述



- 自分が経験した「仕事の種類」の数を質問項目でたずね、

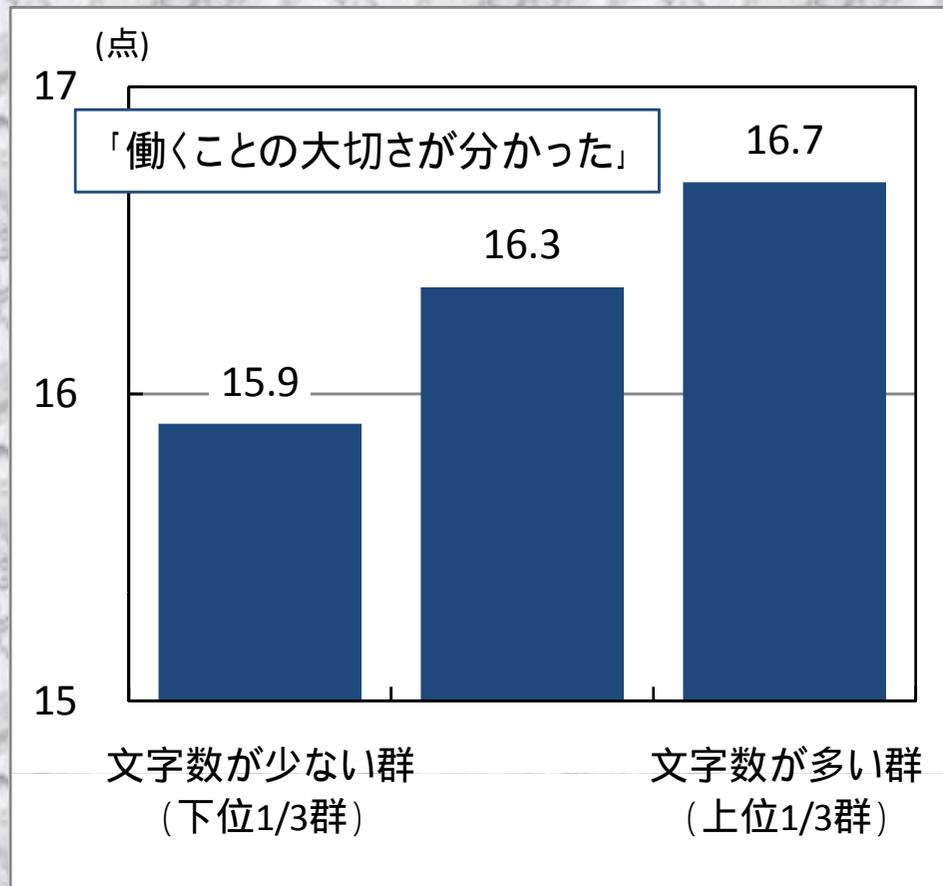
- 具体的にどんな仕事を体験したのか自由記述で記入するように求めた。

自分が経験した仕事の数を多く数え上げられる生徒ほど、どんな仕事を体験したかを多く書くことができる。

職場体験先	体験した業務内容
B 保育園	保育
B 保育園	園児と遊ぶ ゆか・たなふき 洗たく干し コップ洗い トイレそうじ
B 保育園	洗たく 散歩 掃除 食べた後の食器さげの手伝い(テーブルふき) 子供とあそび ゆうぐの水洗い コップ洗い おりがみ作り 自由帳作り
B 保育園	園児たちの世話 食器の片づけ おもちゃのそうじ 消毒(コップ etc…)
F 保育園	子供たちのせわ
F 保育園	子供にごはんを食べさせる(0歳児) 子供を寝かしつける 子供と遊ぶ 子供の着替えを手伝う トイレそうじ おむつがえ(0歳児) まとめて子供のめんどうを見る
F 保育園	着がえさせ オムツがえ そうじ 遊び相手
J 保育園	保育
J 保育園	子供達と遊ぶ そうじなど
J 保育園	雑用、子供と遊ぶ事
J 保育園	一緒にあそぶ そうじ 石ひろい ねかしつけ ご飯を配る かざり作り 歌詞をかく

同じ保育園で同じ職場体験を行っても、体験した業務内容を多く書ける生徒とそうでない生徒がいる。

職場体験学習と自由記述



- 体験した職務内容に関する記述量で上位1/3群、中位1/3群、下位1/3群に分割。
- 職場体験学習後の感想「働くことの大切さが分かった」に対する回答結果を比較した。

体験した職務内容を多く書ける生徒ほど、職場体験学習に対する感想も良い。

職場体験学習と自由記述

6. 以下の質問項目について、あなたが思ったことを書いてください。

1 職場体験でいちばん覚えていることは、生徒が私たちにたくさんあいさつしてくれたこと。

2 職場体験をしていちばん楽しかったのは、担当した1年生のクラスの子達が手を引っぱらって行って「外で遊ぼう」と誘ってくれて、一緒に遊んだこと。

3 職場体験でいちばんつらかったことは、校長先生から出される質問について答えるときや、遅くまで時間がかかったとき。

4 職場体験でいちばん自分に役立ったことは、知らなかったトとの会話や、小学校の生徒達へのあいさつ。

5 職場体験について、親と話したことは、この体験を生かして、将来の仕事について真剣に考えるという事。

文章完成法による結果

	(文字)	
	平均	S D
職場体験でいちばん覚えていることは、	12.95	11.14
職場体験をしていちばん楽しかったのは、	10.97	9.25
職場体験でいちばんつらかったことは、	10.15	9.86
職場体験でいちばん自分に役立ったことは、	9.32	8.65
職場体験について、親と話したことは、	8.95	8.13
職場体験について、友達と話したことは、	8.36	7.64
職場体験先の人と話したことは、	9.10	7.47
職場体験が終わって、これからやろうと思うことは	7.81	7.80
職場体験が終わって、自分の考え方が変わったところは、	9.78	9.95
職場体験が終わって、進学について、今、考えていることは、	7.78	8.68
職場体験が終わって、職場について、今、考えていることは、	8.90	8.80
職場体験が終わって、これからの将来について、今、考えていることは、	8.72	8.68

どの設問に対しても、平均して10文字前後は自由記述を行うことができる。

文章完成法による結果

- 職場体験後の感想「面白かった」
 - 「職場体験でいちばん楽しかったことは($r=.205$)」
 - 「職場体験先の人と話したことは($r=.223$)」
- 職場体験後の感想「働くことの大切さが分かるようになった」
 - 「職場体験について親と話したことは($r=.200$)」
 - 「職場体験先の人と話したことは($r=.209$)」

「いちばん楽しかったこと」「親と話したこと」「職場体験先の人と話したこと」は、職場体験後の感想と関連が深かった。

文章完成法による結果

「職場体験先でいちばん覚えていること」

	出現頻度	
「子供」(「子ども」を含む)	46	14.6%
「遊んだ」(「あそんだ」含む)	42	13.3%
「話」	23	7.3%
「仕事」	19	6.0%
「職場」	12	3.8%
「客」	12	3.8%
「たくさん」	11	3.5%
「レジ」	11	3.5%

文章完成法による結果

「職場体験先の人と話したこと」

	出現頻度	
「仕事」	65	20.6%
「学校」	61	19.4%
「いろいろ」(「色々」を含む)	22	7.0%
「部活」	20	6.3%
「内容」	19	6.0%
「なし」	16	5.1%
「中学」	14	4.4%
「職場」	13	4.1%
「大変」	11	3.5%

文章完成法による結果

「職場体験後に将来について考えていること」「進学について考えていること」

- 記述量が多い 職場体験に深い意味づけがなされている。
- 単に「将来を考えて進学する」ということを、どれだけ掘り下げて考えているかが、記述量に現れる。
- 「自分」という言葉が多く出るのも、記述量が多い生徒の特徴。

自由記述量が多い上位10名の生徒の記述内容

どんな職に就くにしても基本となる勉強、知識が求められるので、ちゃんと高校や大学に行ってこれからも勉強しようと思いました

受験本番直前で困ることのないよう、今のうちからコツコツ勉強しようということ(得意先で教えてもらったこと)

まだ、行きたい所まで成績が足りていないので、まずは、学力向上を目指し、常に努力していきたいと思う

保育についてもっと知りたいので、そのような学校へ行く。そのため、なるべくレベルが高い高校に行く
私はまだ半人前で就職するにはまだ早く、高校で社会について、もっと学ぶべきだということです

自由記述量約20文字の10名の生徒の記述内容

進学については職場体験では考えられなかった

とくいなことに自信を持ち、とにかくがんばる

自分の将来の夢に向かって自分で道を決めたい

志望校を今年中から来年の2月位までに決める

就職に有利なように上を目指そうと思います

自由記述量約10文字の10名の生徒の記述内容

ちゃんと考えられている

このままで行けるか不安

進学については特に何も

どこの高校を受験するか

これから考えようと思う

自由記述量約5文字の10名の生徒の記述内容

高校に行く

とくにない

とくになし

あまりない

とくになし

「職場体験が終わって、
進学について、今、考
えていることは」の
自由記述内容

自由記述量30文字以上の生徒の記述内容

自分がどの道に進むのかはまだまだわかりませんが、少しずつでも考えてみる良い機会になりました
自分の夢をしっかりと持って、その夢にむかって頑張ろうと思います。将来仕事はしっかりとやる
自分の得意なことを仕事にできて、楽しく過ごせるようにするにはどうすべきかということです
やっぱり将来仕事をするならば、やりがいのある、**自分**に向いている仕事がしたいと思う
自分が将来どのような仕事につきたいのか、それが自分に向いているのかどうか
一度しかない人生を、**自分**の一番やりたいしごとについて、有意義に過ごすこと
この職場体験で学んだことを生かした、将来の夢を持ちたいと思っている
保育士は**自分**にあっていかなあーと思った(子供が好きだったから)
どれになりたいか、どれが自分にあっていて責任をもってできるか

自由記述量20文字の生徒の記述内容

自分の力を十分にはっきできる道に進みたい
自分にあった職場に将来いけるようにしたい
有意義に過ぎて、**自分**に合ったことをしたい
どんなこともしんけんにとりくむようにする
自分の生きがいとなるしごと！！につきたい
「**自分**のやりたいことをしよう」ということ

自由記述量10文字の生徒の記述内容

人のためにつくしたい
とりあえず高校に行く
英語を使う仕事がいい
新体操の先生がしたい
普通の人生を歩みたい

自由記述量5文字の生徒の記述内容

とくになし
あまりない
分からない
考えてない
とくにない

「職場体験が終わって、
これからの進路について、
今、考えていること
とは」の自由記述内容

まとめ - 前後の比較

職場体験学習は、概して良い心理的变化が生じる。

職場体験に良い感想を抱いた場合、特に良い変化が生じる。

もともと意識の高い生徒の意識は低める方向で、もともと意識が低い生徒の意識は高める方向で変化が生じやすい
職場体験学習の平準化・現実化効果。

まとめ - 自由記述

自分が経験した仕事を多く書ける生徒ほど、職場体験学習に良い感想をもつ。

職場体験先の人と話をすることの効果が大
きい（特に他愛のない話でも）。

職場体験を通じて、将来や進学を掘り下げ
て考えられるほど、効果が高い（特に自分
に結びつけられた場合）。

以上の諸側面から、職場体験学習は効果的であると主張でき、かつその効果は自由記述（文章完成法を含む）によって有効に測定できることが示された。